

第70回岩手県高等学校総合体育大会スキー競技会の参加における 新型コロナウイルス感染症予防対策についてのガイドライン

第70回岩手県高等学校総合体育大会スキー競技会に参加する監督・コーチ・選手は下記の新型コロナウイルス感染症予防対策についてのガイドラインを厳守するとともに体調チェック票・承諾書を期日までに提出する。

記

1. 提出書類

- (1) 「新型コロナウイルス感染拡大対策にかかる体調チェック票および承諾書（大会前）」
- (2) 「新型コロナウイルス感染拡大対策にかかる体調チェック票」（大会期間中）

提出先：高体連スキー専門部委員長 立花武良（盛岡南高校）

提出期日：(1) 令和3年1月8日（金） (2) 令和3年1月11日（月）

* (1) は田山ドライブインまたはクロスカントリー会場まで届けてください。

* (2) は11日の表彰式会場（15時～安代地区体育館）で提出してください。

2. ガイドライン

(1) 全般的な事項

- ①感染防止のため主催者および大会実行委員会が実施すべき事項を遵守すること。
- ②万が一感染者が発症した場合に備え、個人情報取り扱いに十分注意しながら、参加者に提出を求めた書面について、保存期間(少なくとも一ヶ月以上)を定めて保存しておくこと。
- ③イベント後に参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したときの報告があった場合や、地域の生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合の対応方針について、開催地の自治体や高体連とあらかじめ検討しておくこと。

(2) 大会参加者（選手・監督・コーチ）の参加に関わる事項

- ①参加者に求める感染拡大予防のための措置として、以下のものが挙げられる。
ア参加者が以下の事項に該当する場合は、参加の見合わせを要請できること。（競技日前日に書面で確認を行う）
 - ・発熱・咳・咽頭痛・味覚障害などの症状がある場合
 - ・同居家族や身近な知人に感染者がいる場合または感染が疑われる方がいる場合
 - ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合イ、期間中の検温および体調チェック実施すること。（発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある場合は出場しないよう要請する）マスクを着用すること（スポーツ中などを除き基本的にマスクを着用すること）
- ②こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- ③他者の参加者、主催者等との距離（可能な限り2m以上）を確保することともに、混雑による密集を極力避けること。

- ④大会中に大きな声で会話、応援等をしないこと。
- ⑤感染予防のために主催者が決定したその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと。
- ⑥大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに感染事実と濃厚接触者の有無について報告すること。
- ⑦更衣室、休憩室、待機スペースなど共有スペースでは密になることを避けること。
- ⑧参加者が飲食物を摂取する前に手洗または手指消毒をすること。
- ⑨ドリンク等の飲料については、ペットボトル等使い捨て容器で摂取すること。

(3) 観客等に関する事項

- ①保護者等の観客同士が密な状態とならないよう、必要に応じて競技会場で観戦場所の制限を行う。
- ②大声での声援や会話を控えること。
- ③会話の場面ではマスクを着用すること等の留意事項を周知すること。
- ④ゴミの廃棄は、基本的にゴミは各自で持ち帰り適切な処理をすること。特に鼻水、唾液などがついたゴミは、ビニール袋に入れて密閉して廃棄すること。

岩手県高体連スキー専門部